

山形県 生コン工業組

3者で災害協定締結

産技短大の生コン実習に協力



渡邊英一理事長

数量が上向いてきた地区もあるが、前半の落ち込みをカバーするまでには至らないだろう。年度合計では前年度比15%減の70万㎡程度となるだろう」と厳しい見方を示す。

山形県生コンクリート工業組合（渡邊英一理事長）がまとめた4～10月の累計出荷数量は43万7千㎡で前年同期比14・6%の大幅減となっている。渡邊理事長は「想定

元々出荷数量が少ない地区で上期に工場の新設工事があったため2ケタ増となった。とくに落ち込みが激しいのが庄内支部で、港湾関係の仕事がな

4～10月の累計出荷数量を支部別に見ると、北村山が前年同期比12・1%増となっているのみで、残りの4支部は軒並みの減少。北村山支部は

河川事務所、酒田港湾事務所など発注官庁に陳情を行った際に「地域の道路、とくに農道や農作業用の道路に生コン舗装を

数量が上向いてきた地区もあるが、前半の落ち込みをカバーするまでには至らないだろう。年度合計では前年度比15%減の70万㎡程度となるだろう」と厳しい見方を示す。

元々出荷数量が少ない地区で上期に工場の新設工事があったため2ケタ増となった。とくに落ち込みが激しいのが庄内支部で、港湾関係の仕事がな

4～10月の累計出荷数量を支部別に見ると、北村山が前年同期比12・1%増となっているのみで、残りの4支部は軒並みの減少。北村山支部は

元々出荷数量が少ない地区で上期に工場の新設工事があったため2ケタ増となった。とくに落ち込みが激しいのが庄内支部で、港湾関係の仕事がな

4～10月の累計出荷数量を支部別に見ると、北村山が前年同期比12・1%増となっているのみで、残りの4支部は軒並みの減少。北村山支部は

元々出荷数量が少ない地区で上期に工場の新設工事があったため2ケタ増となった。とくに落ち込みが激しいのが庄内支部で、港湾関係の仕事がな

4～10月の累計出荷数量を支部別に見ると、北村山が前年同期比12・1%増となっているのみで、残りの4支部は軒並みの減少。北村山支部は